

表 メキシコで導入されている州レベルの環境税(GHG排出関連)

州	導入年	課税対象	税額 (2024年)	優遇措置
サカテカス	2017年	固定源からの直接排出	250ペソ/トンCO2	無し
タマウリパス	2021年	固定源からの直接排出 (年間排出量2万5,000トン超、 天然ガス燃料由来90%分を免除)	325ペソ/トンCO2	前年比20%削減を条件に15%の 税額控除, GHG排出量の25%を 上限とした相殺制度
ユカタン	2022年	固定源からの直接排出 (年間排出量500トン超、 天然ガス燃料由来93%分を免除)	293ペソ/トンCO2	前年比20%削減を条件に15%の 税額控除, 排出削減・吸収プロ ジェクトの実施による相殺
ケレタロ	2022年	固定源からの直接排出	640ペソ/トンCO2	削減・吸収プロジェクトの実施によ る相殺
メキシコ州	2022年	固定源からの直接排出	58ペソ/トンCO2	排出削減に向けた投資額の30% に相当する税額控除
グアナファト	2023年	固定源からの直接排出 (年間排出量50トン超、 天然ガス燃料由来80%分を免除)	45ペソ/トンCO2	前年比20%削減を条件に20%の 税額控除
ドゥランゴ	2023年	固定源からの直接排出	100ペソ/トンCO2	無し
サンルイスポトシ	2025年	固定源からの直接排出	325ペソ/トンCO2	詳細未定

(出所)各州財政法などを基に作成